

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成25年3月14日 (2013.3.14)

【公開番号】特開2011-186009(P2011-186009A)

【公開日】平成23年9月22日 (2011.9.22)

【年通号数】公開・登録公報2011-038

【出願番号】特願2010-48483(P2010-48483)

【国際特許分類】

G 0 9 D 3/12 (2006.01)

G 0 4 G 99/00 (2010.01)

G 0 4 G 9/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 D 3/12 H

G 0 4 G 1/00 3 1 1 D

G 0 4 G 9/00 3 0 4 C

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月28日 (2013.1.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

請求項 3 記載の発明は、請求項 1 又は請求項 2 に記載のカレンダー表示制御装置において、

外部から操作指令を入力する操作手段を備え、

前記データ変更手段は、

前記操作手段を介した外部からの操作指令の入力により前記祝日情報の追加、変更および削除を可能とすることを特徴としている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

請求項 4 記載の発明は、請求項 1 から請求項 3 のいずれか一項に記載のカレンダー表示制御装置において、

前記データ記憶手段は、不揮発性メモリにより構成されていることを特徴としている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

月日および休日の情報を表示装置に表示させるカレンダー表示制御装置において、

祝日を表わす祝日情報を記憶するデータ記憶手段と、

前記データ記憶手段に記憶された前記祝日情報に基づいて振替休日を算出する第 1 休日

演算手段と、

前記データ記憶手段に記憶された前記祝日情報に基づいて、前日及び翌日が祝日であり且つ当日が祝日になっていない国民の休日を算出する第2休日演算手段と、

前記第1休日演算手段および前記第2休日演算手段により算出された前記振替休日および前記国民の休日を含んだ休日の情報を前記表示装置に表示させる休日表示制御手段と、

前記データ記憶手段に記憶される前記祝日情報の追加、変更および削除を可能とするデータ変更手段と、

を備え、

前記第1休日演算手段と前記第2休日演算手段とは、前記データ変更手段により前記祝日情報の追加、変更又は削除が行われた場合に、追加、変更又は削除の後の前記祝日情報に基づいて、前記振替休日と前記国民の休日とをそれぞれ算出することを特徴とするカレンダー表示制御装置。

【請求項2】

前記データ記憶手段には、

ユーザ定義の休日を表わす個人休日情報が前記祝日情報と識別可能に記憶可能であり、

前記データ変更手段は、

前記データ記憶手段に記憶される前記個人休日情報を前記祝日情報と区別して追加、変更および削除可能にされ、

前記休日表示制御手段は、

前記個人休日情報により示される休日を含んだ休日の情報を前記表示装置に表示させることを特徴とする請求項1記載のカレンダー表示制御装置。

【請求項3】

外部から操作指令を入力する操作手段を備え、

前記データ変更手段は、

前記操作手段を介した外部からの操作指令の入力により前記祝日情報の追加、変更および削除を可能とすることを特徴とする請求項1又は請求項2に記載のカレンダー表示制御装置。

【請求項4】

前記データ記憶手段は、不揮発性メモリにより構成されていることを特徴とする請求項1から請求項3のいずれか一項に記載のカレンダー表示制御装置。

【請求項5】

祝日を表わす祝日情報を記憶するデータ記憶手段および表示装置をコンピュータが制御して前記表示装置に月日および休日の情報を表示させるカレンダー表示制御方法において、

前記コンピュータが、前記データ記憶手段に記憶された前記祝日情報に基づき振替休日を算出する第1休日演算ステップと、

前記コンピュータが、前記データ記憶手段に記憶された前記祝日情報に基づいて前日及び翌日が祝日であり且つ当日が祝日になっていない国民の休日を算出する第2休日演算ステップと、

前記コンピュータが、前記第1休日演算ステップおよび前記第2休日演算ステップにより算出された前記振替休日および前記国民の休日を含んだ休日の情報を前記表示装置に表示させる休日表示制御ステップと、

前記コンピュータが、操作手段を介した外部からの操作指令の入力に基づき前記データ記憶手段に記憶される前記祝日情報の追加、変更および削除を行うデータ変更ステップと、

を含み、

前記データ変更ステップにより前記祝日情報の追加、変更又は削除が行われた場合に、追加、変更又は削除の後の前記祝日情報に基づいて前記第1休日演算ステップと前記第2休日演算ステップがそれぞれ実行されることを特徴とするカレンダー表示制御方法。

【請求項6】

前記データ変更ステップは、

前記コンピュータが、前記操作手段を介した外部からの操作指令の入力に基づき、前記データ記憶手段に記憶されているユーザ定義の休日を表わす個人休日情報を、前記祝日情報と区別して追加、変更および削除可能なステップを含み、

前記休日表示制御ステップは、

前記コンピュータが、前記個人休日情報の休日を含んだ休日の情報を前記表示装置に表示させることを特徴とする請求項 5 記載のカレンダー表示制御方法。

【請求項 7】

祝日を表わす祝日情報を記憶するデータ記憶手段と、月日および休日の情報を表示する表示装置とを制御するコンピュータに、

前記データ記憶手段に記憶された前記祝日情報に基づいて振替休日を算出する第 1 休日演算機能と、

前記データ記憶手段に記憶された前記祝日情報に基づいて前日及び翌日が祝日であり且つ当日が祝日になっていない国民の休日を算出する第 2 休日演算機能と、

前記第 1 休日演算機能および前記第 2 休日演算機能により算出された前記振替休日および前記国民の休日を含んだ休日の情報を前記表示装置に表示させる休日表示制御機能と、

操作手段を介した外部からの操作指令の入力に基づいて前記データ記憶手段に記憶される前記祝日情報の追加、変化および削除を行うデータ変更機能と、

を実現させ、

前記第 1 休日演算機能と前記第 2 休日演算機能とは、前記データ変更機能により前記祝日情報の追加、変更又は削除が行われた場合に、追加、変更又は削除の後の前記祝日情報に基づいて前記振替休日と前記国民の休日とをそれぞれ算出することを特徴とするプログラム。

【請求項 8】

前記データ変更機能は、

操作手段を介した外部からの操作指令の入力に基づき、前記データ記憶手段に記憶されているユーザ定義の休日を表わす個人休日情報を前記祝日情報と区別して追加、変更および削除可能とする機能を含み、

前記休日表示制御機能は、

前記個人休日情報の休日を含んだ休日の情報を前記表示装置に表示させることを特徴とする請求項 7 記載のプログラム。